目黒区立大岡山小学校

研究発表会



目黒区研究開発学校
研究概要の説明

令和元年度～令和５年度、令和６年度～令和８年度（延長指定）

目黒区教育委員会　説明資料

目黒区研究開発学校の教育課程

研究開発学校の特例　　１単位時間（40分）＝１コマ

※学校教育法施行規則第51条によらず

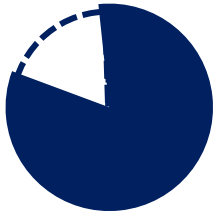
通常の小学校（45分）　45分×1015コマ

目黒区研究開発学校（40分）　40分×1015コマ　5分

※小学校第４学年、第５学年、第６学年において

５分×1015コマ＝5075分

生み出した時間 127コマ



学校の特色ある教育活動の時間

（各教科等に該当しない活動時間も含む）

＋



教育の質向上のための教員の時間



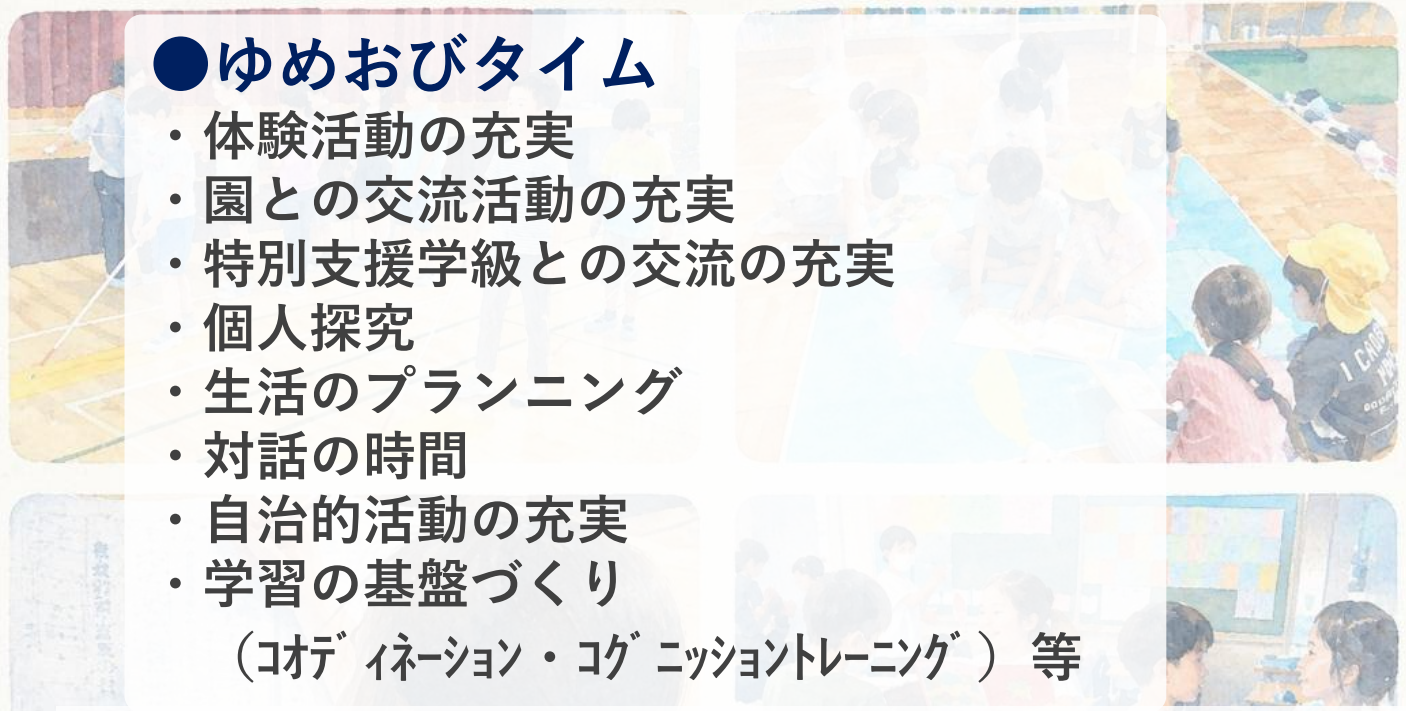
研究開発課題

「４０分授業午前5時間制を生かした創意工夫ある教育課程の開発」

生み出した時間の取組

標準授業時数にプラスすることなく、多様な取組を展開

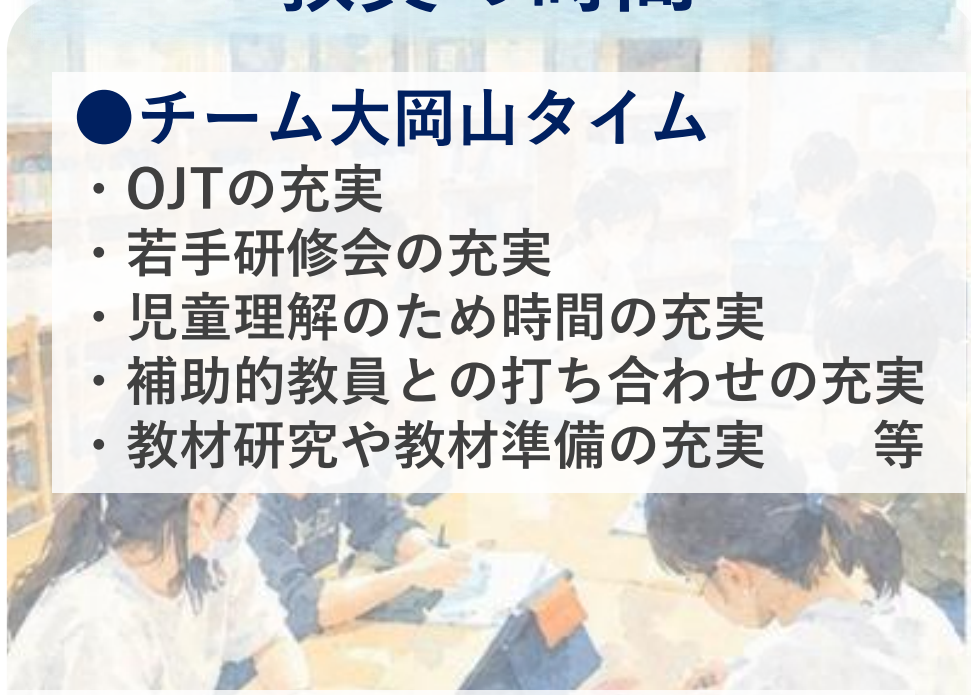
学校の特色ある教育活動の時間



●ゆめおびタイム
- 体験活動の充実
- 園との交流活動の充実
- 特別支援学級との交流の充実
- 個人探究
- 生活のプランニング
- 対話の時間
- 自治的活動の充実
- 学習の基盤づくり

（ｺｵﾃﾞｨﾈｰｼｮﾝ・ｺｸﾞﾆｯｼｮﾝﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ）等

教育の質向上のための教員の時間



●チーム大岡山タイム
- OJTの充実
- 若手研修会の充実
- 児童理解のため時間の充実
- 補助的教員との打ち合わせの充実
- 教材研究や教材準備の充実　　等

子どもたちに「こういう力を付けたい」という教師の想い

（学校の教育目標、児童・生徒の実態、地域の現状等）

目黒区研究開発学校の経緯

- 平成１４年度
  目黒区立中目黒小学校で４０分授業午前５時間制のスタート

- 平成２９・３０年度
  文部科学省　研究指定
  「これからの時代に求められる資質・能力を育むためのカリキュラム・マネジメントの在り方に関する調査研究」

- 令和元年度～令和５年度（研究第Ⅰ期）

- **令和６年度～令和８年度（研究第Ⅱ期）大岡山小学校でスタート**
  - 中学校への接続を見据えた４５分授業の導入
  - 地域性の異なる学校との共同研究の実施
  - 共通の取組「自己選択学習の時間」の実施

  ⇒教育課程全体を通した「自己調整する力」の育成にも着目



「自己選択学習の時間」の取組

創意工夫が繰り返され、取組は彩り豊かなものに

「自己選択学習の時間」とは？

・「子どもたち一人ひとりが自分の興味・関心や学習状況から自分に合った学びを選択する活動」
・生み出した時間の３５コマ程度を各校で設定

大岡山小学校

「自己選択学習の時間」



各校の試行錯誤、創意工夫が各校の取組のカタチに

「主体的・対話的で、深い学び」の実現に向けて

「学習の自己調整」に着目しながら授業改善を推進

各学校が実態に応じて取組を推進

●**学びのサイクルや学習方略を意識した授業づくり**

●単元内自由進度学習や複線型授業の実施　等

生み出した時間の活用

●**「自己調整学習」の研究者からの研修**

● 校内研究会の充実

● 教材研究・教材開発の充実



肯定的評価の割合

7.5pt上昇

「どうやったらうまくいくかを考えて学習を始めるようにしている」



肯定的評価の割合

5.7pt上昇

「学習をしてもできるようにならないときは、学習の方法を工夫している」

最後に

授業時間「40分」は方法であり、目的は教育の質の向上

「40分」授業の実施

授業改善

○年間指導計画のリデザイン
○単元指導計画のリデザイン
○１単位時間の授業のリデザイン 等

５分間の時間創出

児童の資質・能力の向上

授業改善の推進

「生み出した時間」の活用

学校の特色ある教育活動の時間

特色ある教育活動の
検討・開発・準備等

教育の質向上のための教員の時間


教育課程の新しいカタチ
その先にある新しいケシキ
大岡山小学校の研究説明へ
目黒区教育委員会事務局教育指導課

目黒区立大岡山小学校

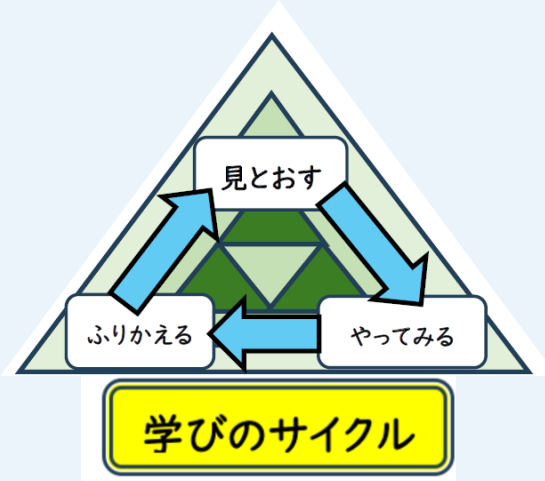
令和6～8年度　文部科学省研究開発学校

「自ら学びを調整する子の育成」



柔軟な教育課程編成

×



自己調整力の育成

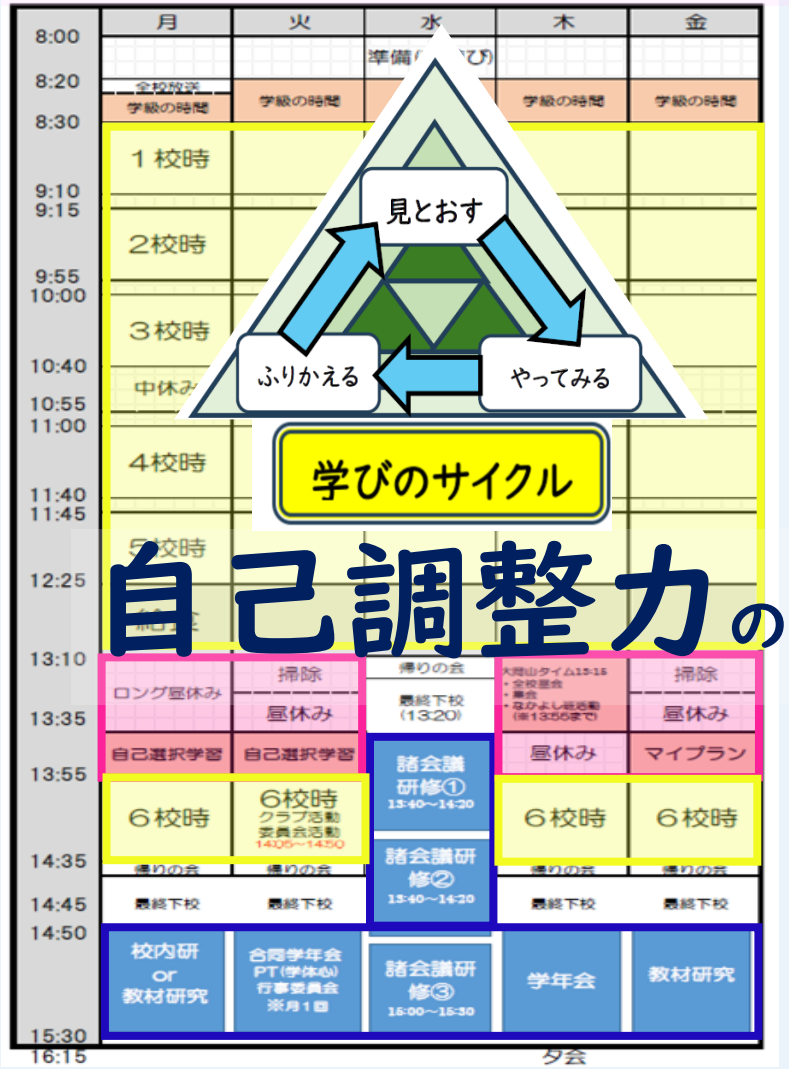
01　柔軟な教育課程　編成の背景

学校経営
「夢の土台づくり」

本校の強み

本校の課題

自律した学習者



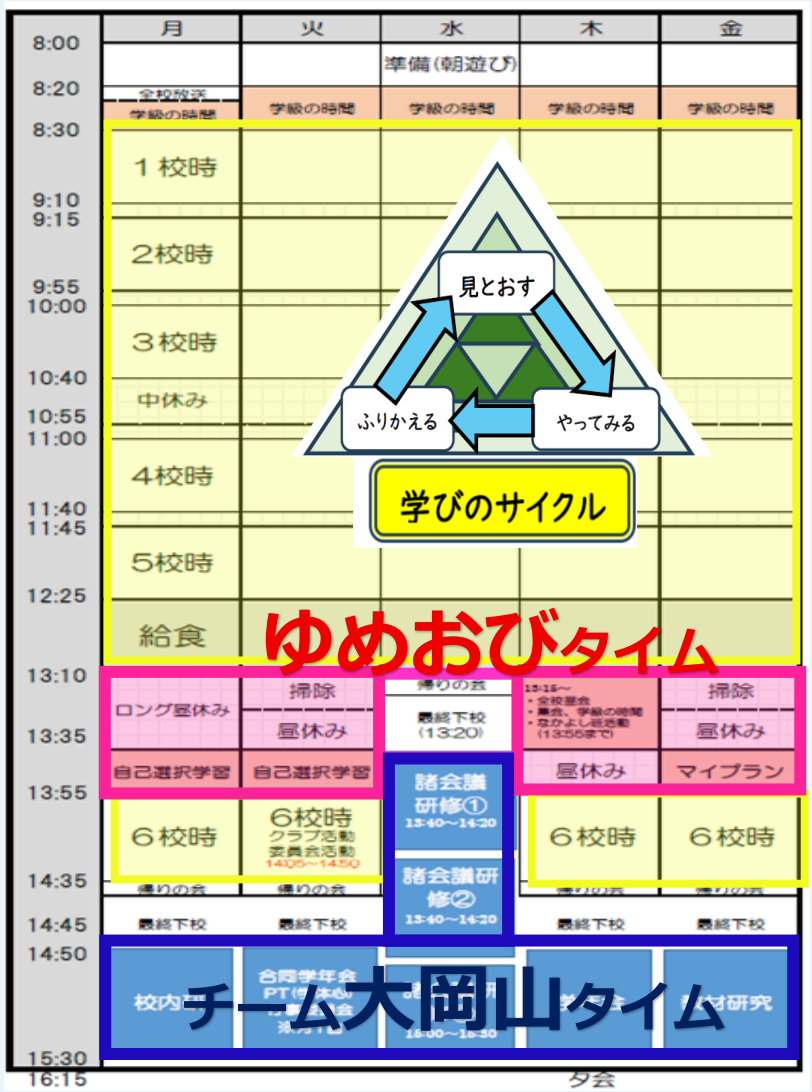
自己調整力の育成

本校の児童の実態

社会的背景

24学級の大規模校

02　柔軟な教育課程　本校の特徴（生み出した時間）



本校の特徴＝シンプル

生み出した時間

☑児童編
ゆめおびタイム

昼の時間帯に集約
自己調整力の向上
本校の特色を生かす

☑教師編
チーム大岡山タイム

下校時刻が早い
そろっている
教師力の向上

０３　柔軟な教育課程　本校の特徴（４０分授業）



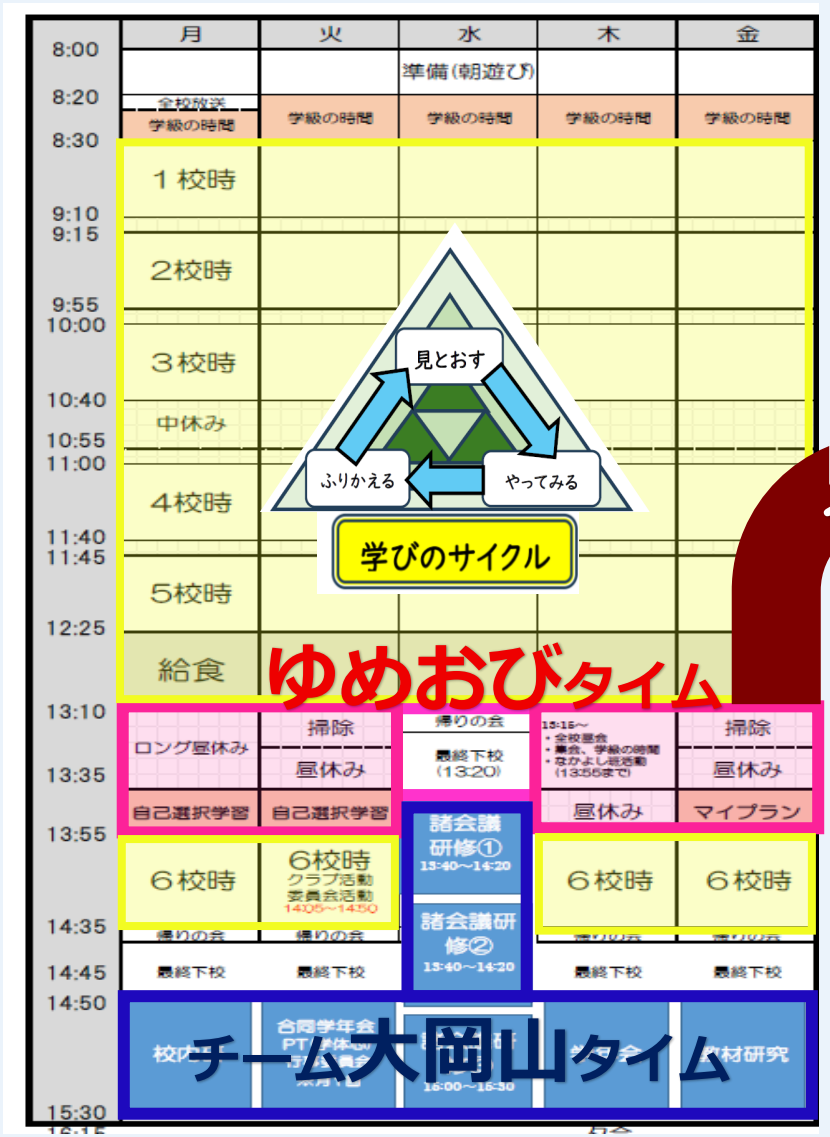
授業のリデザイン

☑各教科で身に付けさせたい力の重点化

☑単元導入時のオリエンテーションの充実

☑自己調整力を意識した単元計画

04　柔軟な教育課程　【児童編】生み出した時間　～自己調整力の向上～



児童編

ゆめおびタイム

- ☑自己選択学習の時間
- ☑マイプラン
- ☑異学年交流
- ☑ロング昼休み

05　柔軟な教育課程　【教師編】生み出した時間 ～自己調整力の向上～



教師編

チーム大岡山タイム

☑教育課程推進のための
組織編制と運営
プロジェクトチーム
（PTまなび・こころ・からだ）

☑会議の精選

☑教師力向上のための取組
（校内研修・たかめタイムなど）

目黒区立大岡山小学校

令和6～8年度　文部科学省研究開発学校

「自ら学びを調整する子の育成」



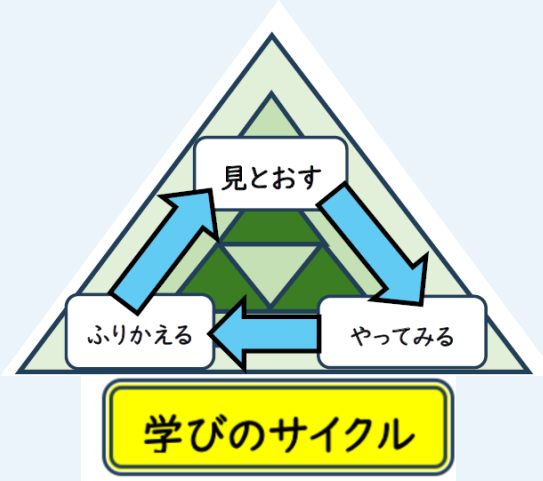
柔軟な教育課程編成

４０分授業午前５時間制

ゆめおびタイム

チーム大岡山タイム

×

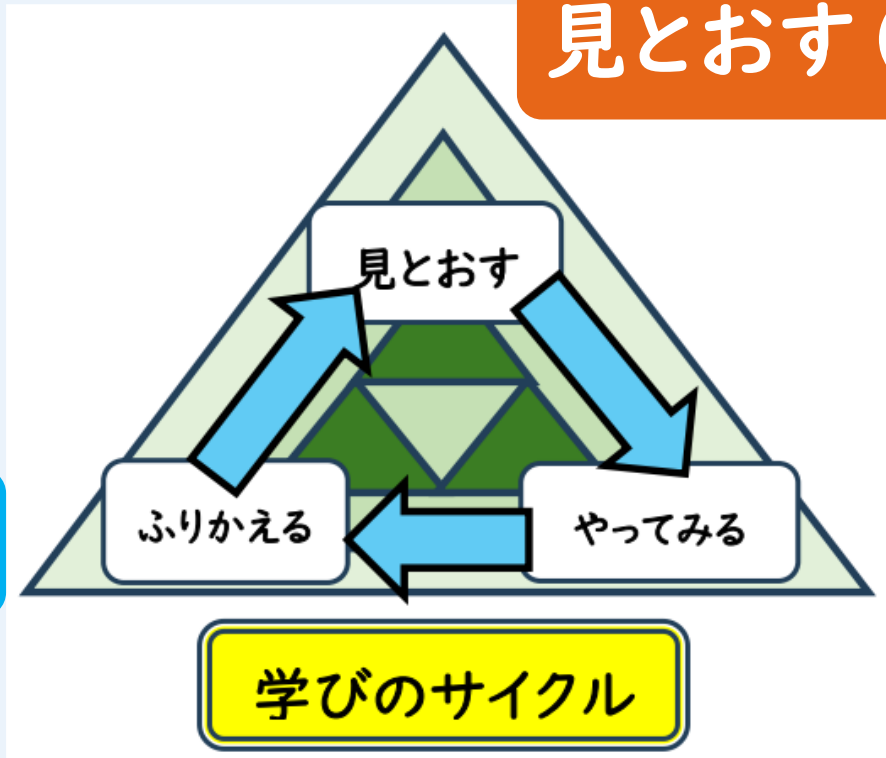


自己調整力の育成

05　指導の実際～大岡山まなびースタイル～　「自己調整力」の捉え

「自己調整力」＝「学びのサイクル」を自ら回す力

見とおす（予見）



やってみる（遂行）

ふりかえる（省察）

05　指導の実際～大岡山まなびースタイル～　授業実践



＝「学習方略」（学び方のコツ）



児童が有用性を自覚

☆明示的な指導

・意図的・直接的に指導
・「まなびーポイント」を発揮して学ぶ姿を価値付けて共有

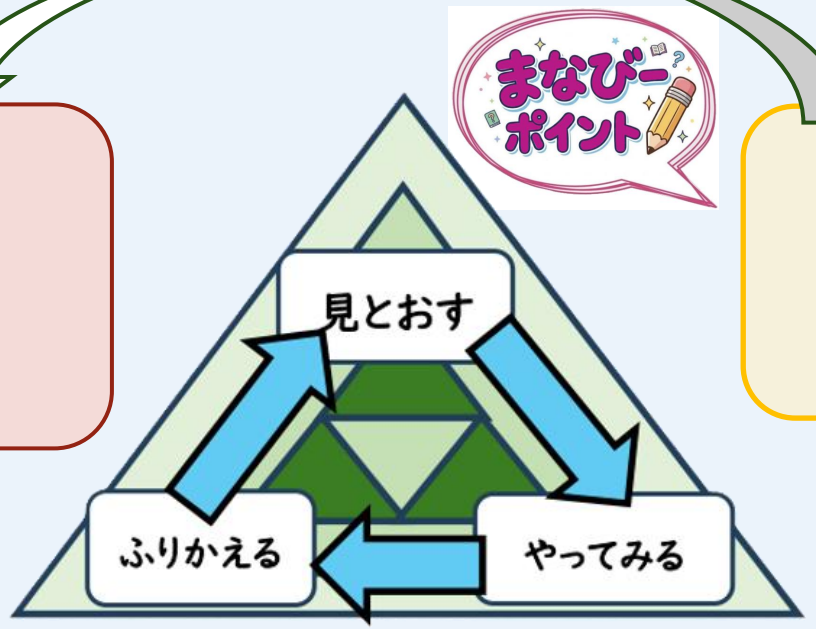
動画を比較（メタ認知的方略）
動きの整理（認知的方略）
友達に聞く（外的リソース方略）

「まなびーポイント」を意識することで、目標達成に向けた行動が変化する。

「まなびーポイント」を知り、使ってみて「学びのサイクル」を回す

自己選択学習の時間

授業



学びのサイクル

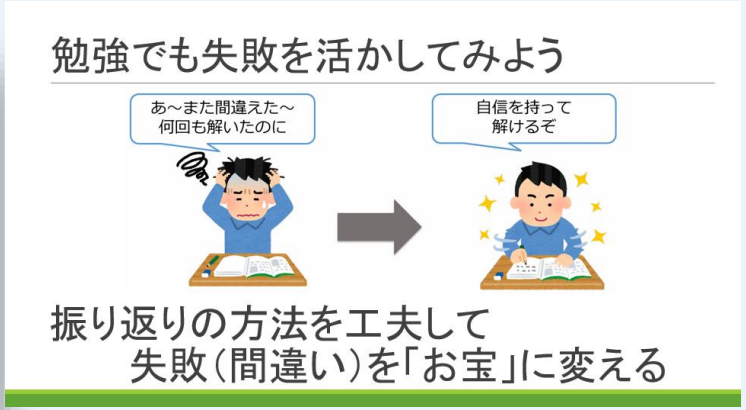
マイプラン

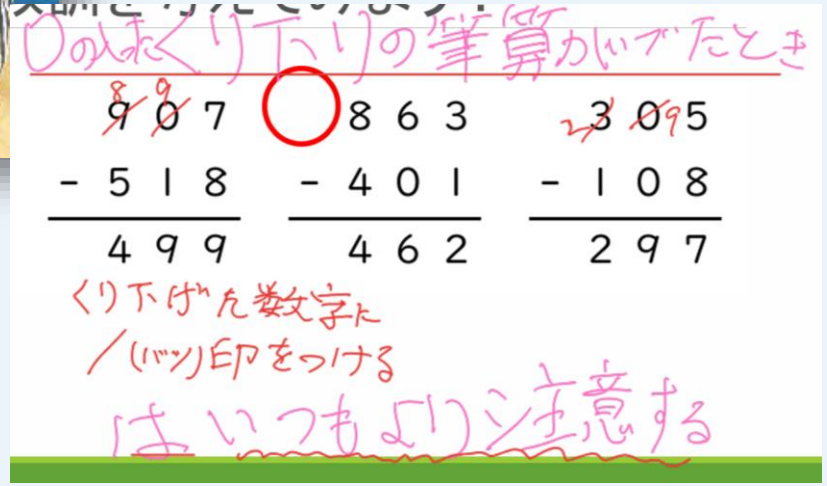
05　指導の実際～大岡山まなびースタイル～　「まなびー講座」の実施

（5・6年対象）









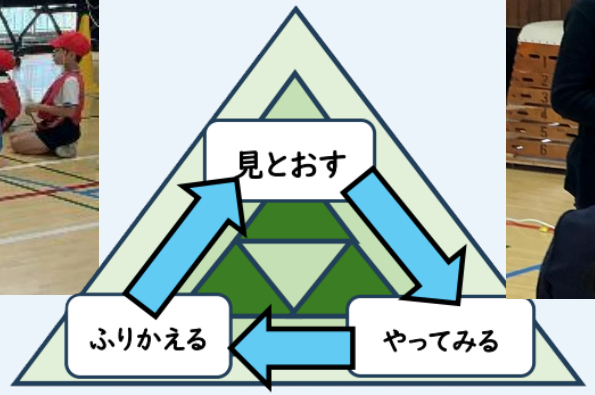
改めて**学び方にはコツがある**ことが分かった。

いつも自分が使っている考え方は、
他の場面でも役立つことなのだと気付いた。

06　本校の「カリキュラム・マネジメント」～「自己調整力」を柱に～







学びのサイクル





まなびーポイント

パネルディスカッション
自己調整力を高めるために

～教育課程・心理学・教科教育の観点から～

◆パネリスト紹介

日本体育大学 児童スポーツ教育学部
教授　石田有記先生

東京大学大学院 教育学研究科
准教授　植阪友理先生

日野市立日野第一小学校
校長　船山徹先生

①教育課程の工夫

カリキュラム・オーナーシップと大岡山小学校

大岡山小学校（文部科学省研究開発学校）研究発表会

令和8年10月30日

学校経営
カリキュラム・マネジメント

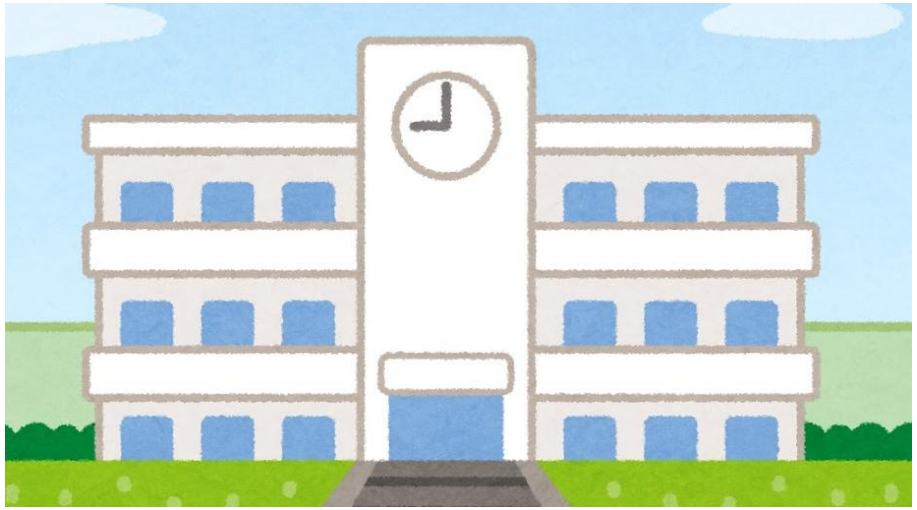
日本体育大学　児童スポーツ教育学部　　石　田　有　記

日本体育大学
Nippon Sport Science University

カリキュラム・オーナーシップ

次期学習指導要領の基本的な考え方

主体的・対話的で深い学びの実装
多様性の包摂（柔軟な教育課程）
実現可能性の確保



カリキュラム・オーナーシップ（石井英真　2026　P5）

カリキュラムや教育課程は、現場から遠い国レベルの話ではありません。

子どもたちや地域の状況の多様性が拡大するなか、



目の前の子どもたちの事実と対峙しながら、
どんな子どもを育てたいのか、
何をこそ教え学ぶべきか

といった、教育の目的・目標・内容に関する問いを、
それぞれの学校において問うことが大事になっています。

目黒区のプレゼン資料

生み出した時間の取組

標準授業時数にプラスすることなく、多様な取組を展開

学校の特色ある教育活動の時間

- 体験活動の充実
- 園との交流活動の充実
- 特別支援学級との交流の充実
- 個人探究
- 生活のプランニング
- 対話の時間
- 自治的活動の充実
- 学習の基盤づくり

（ｺｵﾃﾞｨﾈｰｼｮﾝ・ｺｸﾞﾆｯｼｮﾝﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ）等

教育の質向上のための教員の時間

- OJTの充実

子どもたちや地域の状況の**多様性が拡大**するなか、

目の前の子どもたちの事実と対峙しながら、
どんな子どもを育てたいのか、
何をこそ教え学ぶべきか

といった、教育の目的・目標・内容に関する問いを、
それぞれの学校において問うことが大事になっています。



子どもたちに「こういう力を付けたい」という教師の想い
（学校の教育目標、児童・生徒の実態、地域の現状等）

大岡山小学校の
プレゼン資料

子どもたちに「こういう力を付けたい」という教師の想い
（学校の教育目標、児童・生徒の実態、地域の現状等）

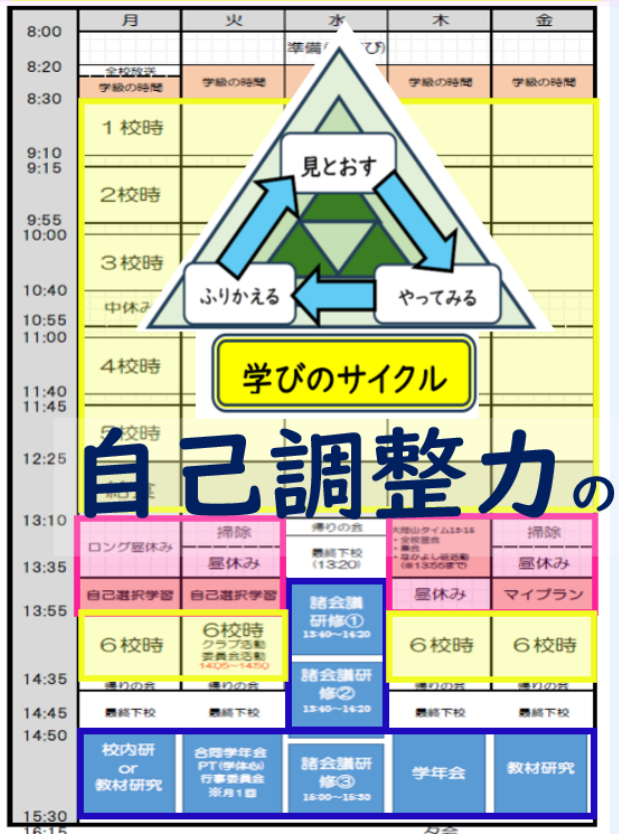
01　柔軟な教育課程　作成の背景

学校経営

本校の強み

本校の課題

自律した学習者



自己調整力の育成

本校の児童の実態

社会的背景

24学級の大規模校

なぜ「自己調整力」か－レバレッジポイント－　（大岡山小学校の学校経営方針より）

学校教育目標（目指す子供像）

心ゆたかな子、考える子、がんばる子、じょうぶな子

中山校長
ここに力を入れると全部がうまく育つと考えた。

育てたい資質・能力

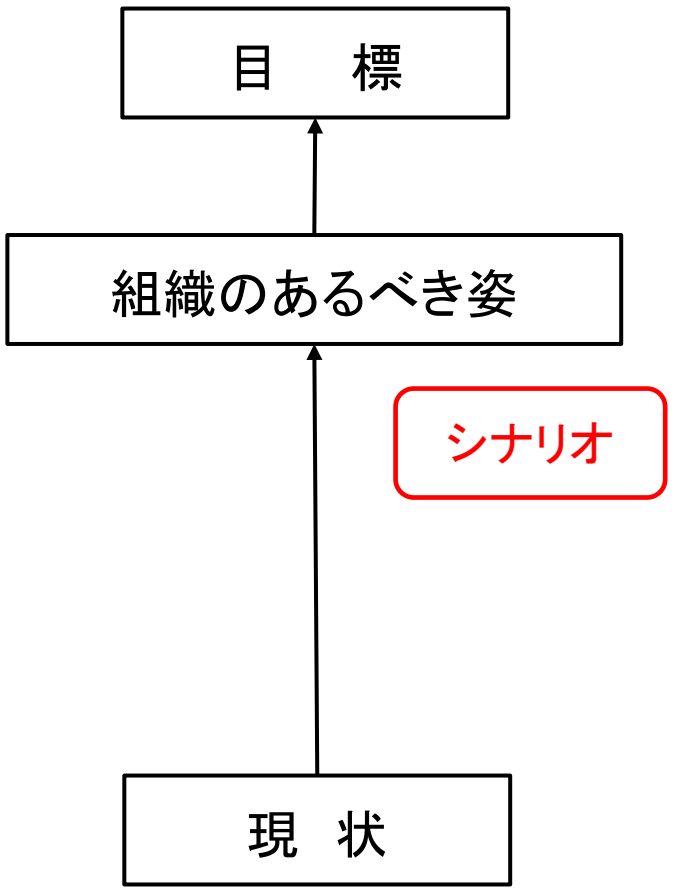
人権感覚、人間関係構築力、非認知能力、**自己調整力**、自ら考え表現する力、学びに向かう力、自他の生命尊重の精神、体力、スポーツ志向　等

※レバレッジポイント（てこの支点(Leverage　Points)に由来）

ある要素に手を入れたら他の要素まで望ましい変化が表れるポイントのこと。

相対的に小さな行動で大きな結果を生み出せるように考える。

戦略とは、「組織の将来のあるべき姿とそこに至るまでの変革のシナリオ」を描いた設計図である（伊丹、加護野(2022)）



戦略

戦術

将来のあるべき姿…

目標を達成するために、組織活動の内容がどのようなものになっていなければならないかを定める。

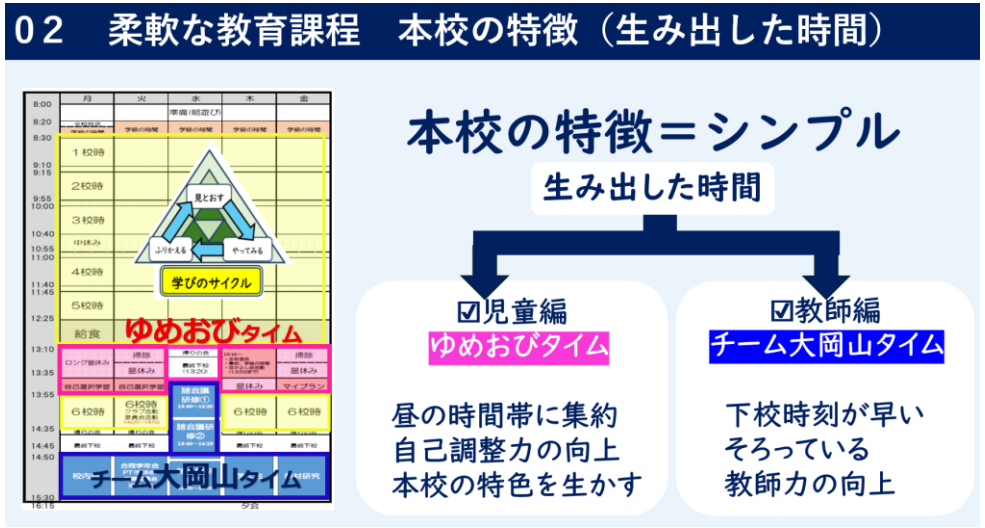
そこに至るまでの変革のシナリオ…

「あるべき姿」と「現状」のギャップを埋め、あるべき姿に到達するための変革のシナリオを描く

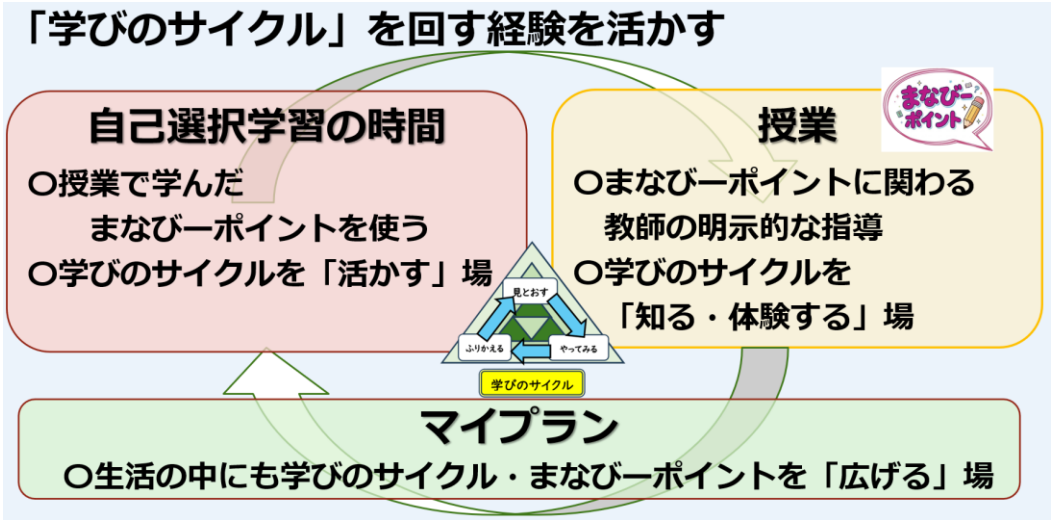
「自己調整力」の育成に向けた大岡山小学校の戦略は？

大岡山小学校の戦略－自己調整力の育成に向けて－

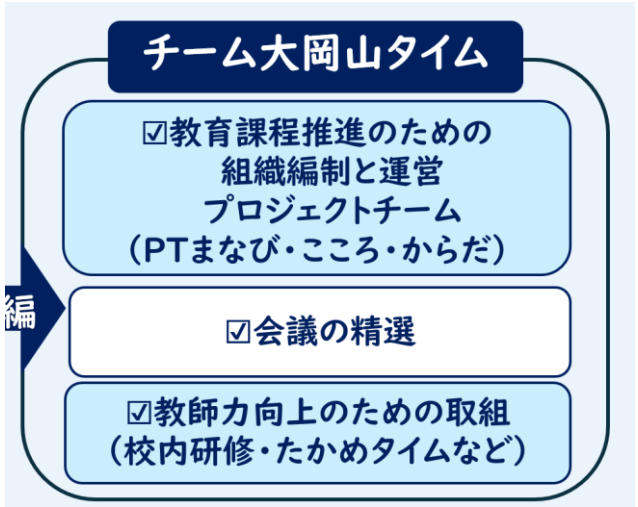
①研究推進と教師力向上はセット



②教育課程全体を俯瞰する



③組織体制を整えて生かす



④学校外からのリソースの調達



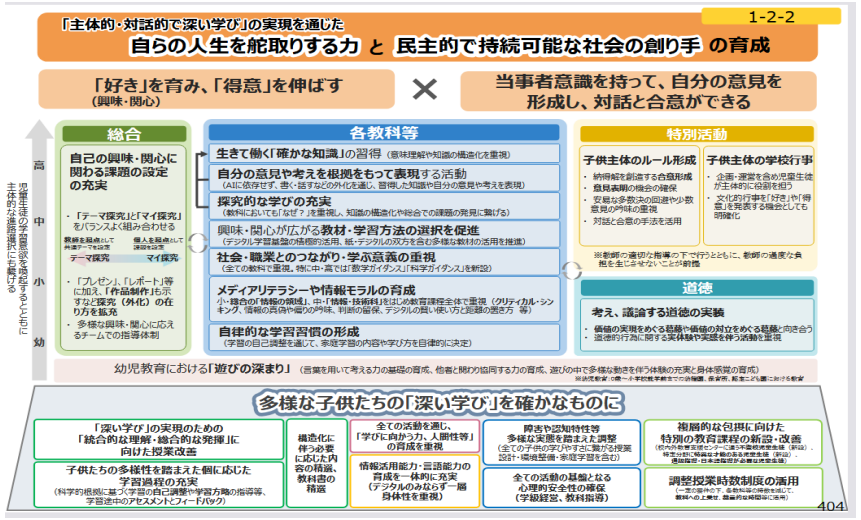
移行期間の過ごし方－2階建てで動く－

「やらねばならぬこと」は
校務分掌で受け止める

改訂のコンセプト
統合的な理解、総合的な発揮のイメージ
学習評価（学びに向かう力、人間性等）
指導計画（年間、学期ごと、単元）
情報の領域、教材
教科書の変化、、、、

「やってみたいこと」を決め
校内研修で受け止める
（教育課程と組織を育てる）

サキドリしたいこと（自校のレバレッジポイント）



次期学習指導要領の「戦略」（審議まとめ　2026.10.5　資料2　P404）

目　　標

あるべき姿
（目指す児童生徒像）

教育課程の改善

学習指導の改善



大岡山小学校の「レバレッジポイント」は？

大岡山小学校の「レバレッジポイント」の広がり

研究の進展に応じて、赤字から青字へと広がりつつある。



【教育課程の改善（各教科等）】

- 自律的な学習習慣の形成

→ ・ 興味・関心が広がる教材・学習方法の選択を促進

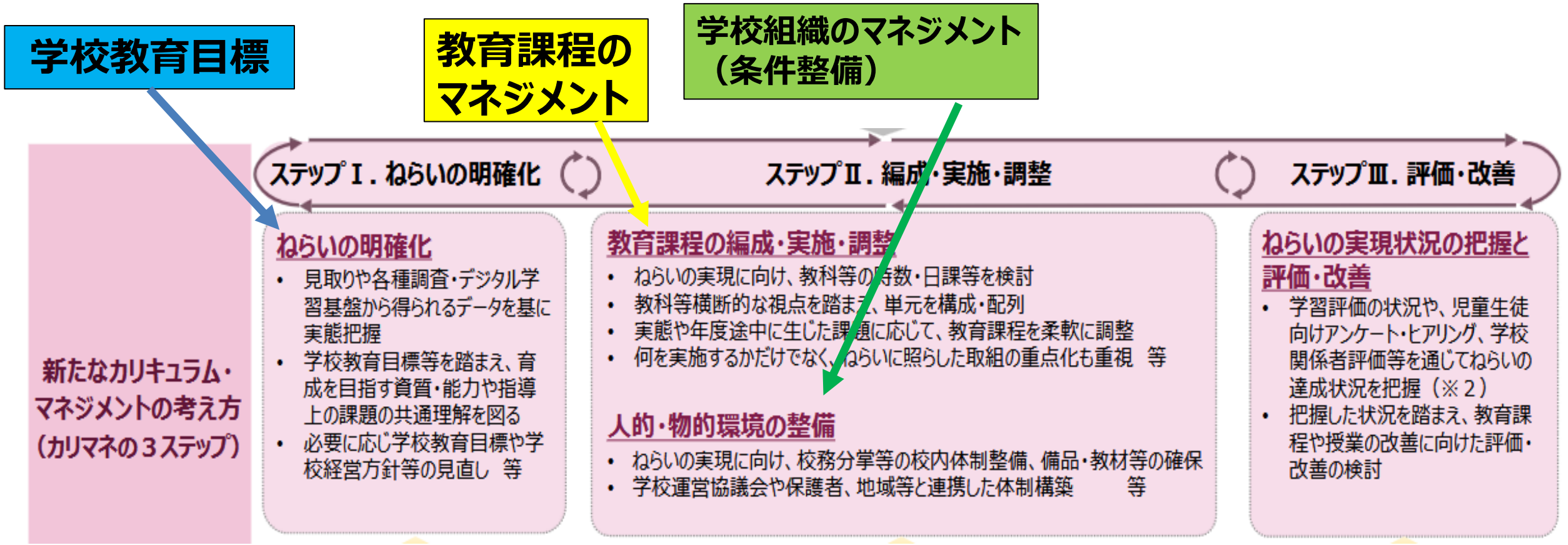
【学習指導の改善】

- 子供たちの多様性を踏まえた個に応じた学習過程の充実
- すべての活動を通じ、学びに向かう力、人間性等の育成を重視
- 調整授業時数制度の活用

→ ・「深い学び」の実現のための「統合的な理解・総合的な発揮」に向けた授業改善

カリキュラム・マネジメントの3ステップ

教育課程企画特別部会　審議まとめ（案） 2026.10.5 P480

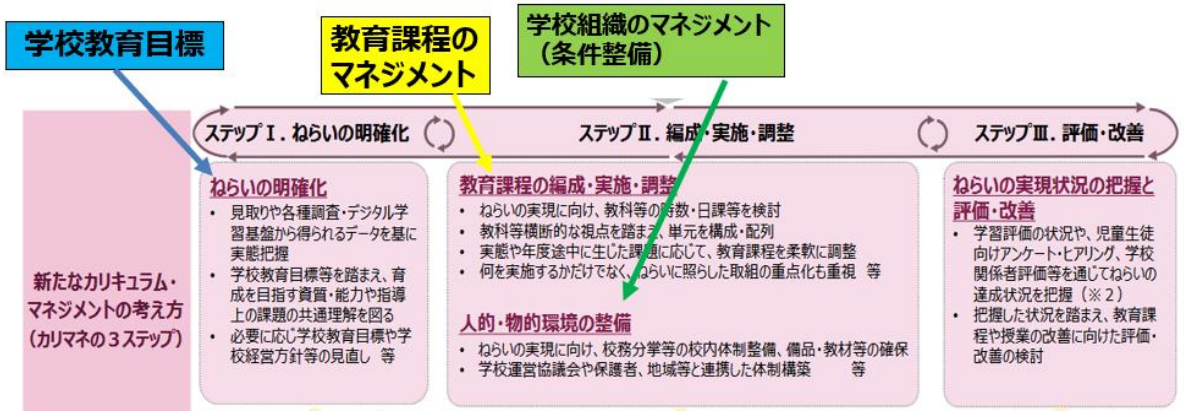


移行期間中のカリキュラム・マネジメントのポイント

中期的な視点を持った校内研究

教育課程が育つ研究テーマ
組織が育つ研究テーマ

「教育課程の戦略」「校務分掌」



鍵は**「レバレッジポイント」**（てこの支点(Leverage　Points)に由来）

ある要素に手を入れたら他の要素まで望ましい変化が表れるポイントのこと。

相対的に小さな行動で大きな結果を生み出せるように考える。

引用・参考文献

伊丹敬之、加護野忠男(2022)「ゼミナール経営学入門（新装版）」日本経済新聞社

石井英真2026「カリキュラム・オーナーシップ　教育課程改革の設計図」教育開発研究所

①教育課程の工夫

②「自己調整力」の捉え方

③体育科を中心とした教科指導における「自己調整力」向上

これからの学校教育について

（まとめ）

目黒区立大岡山小学校

研究発表会



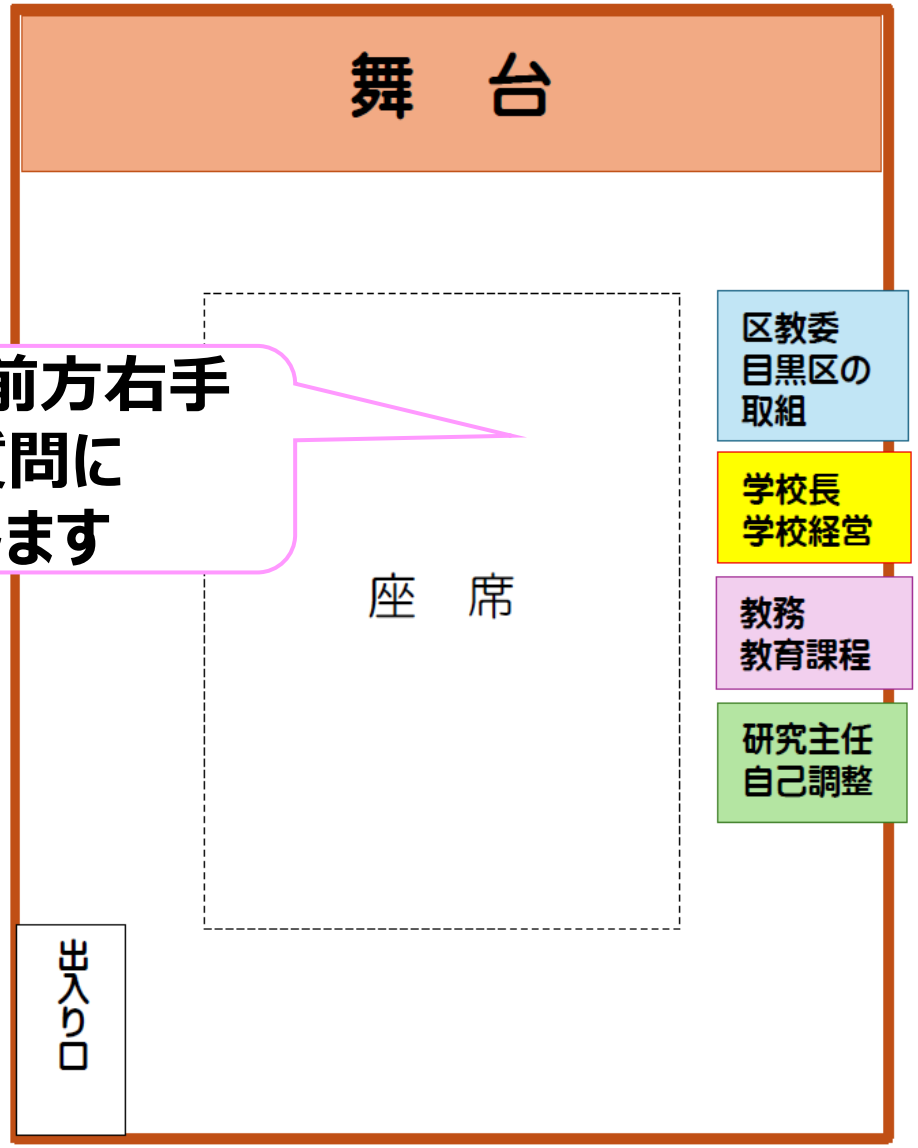








質疑応答のご案内



体育館前方右手
にてご質問に
お答えします

目黒区教育委員会事務局

➤目黒区の取組について

本校校長　中山晴義

➤学校経営の視点から

教務主任　藤巻恵太

➤教育課程の視点から

研究主任　本田治子

➤自己調整の視点から